

プロフィール

吉崎 克彦

箏奏者、作曲家/Koto player, Composer
東京藝術大学邦楽学科卒業
宮城コンクール作曲部門年度1位
大日本家庭音楽会作曲コンクール1位
パチカンにてローマ法王「ヨハネパウロ2世」謁見演奏
学校鑑賞曲に『哀歌』選ばれる。
他 作曲多数



坂田 梁山

岸原周山、川村泰山に師事。
NHK邦楽技能者育成会卒業。
都山流尺八本曲コンクールで金賞・文部大臣賞受賞。
海外公演、CD録音、TV・ラジオ出演多数。
劇団四季のミュージカル出演、さだまさし、小椋佳、
南こうせつとの共演等様々な分野で活動。
都山流尺八大師範。



OSAKA KOTO派

2013年7月に第1回コンサートをきっかけに結成した、吉崎克彦門下の会。
以降毎年『OSAKA KOTO派 with 吉崎克彦 箏コンサート』を開催し、今年で12回目を迎える。
大阪・兵庫・奈良・三重在住のメンバーからなり、演奏、指導、学校授業など各自活動中。

プログラム

- 1. 彗星** 吉崎克彦 作曲 〈編成〉箏2、十七絃、尺八
一見シンプルなメロディーが実際に演奏するとシンコペーション等非常に難しく、彗星を思わせるような速いテンポで刻むのが尺八にとっては大変です。だけれどそれがまた楽しい(!)という、そのギャップがとっても面白く、聴きごたえ満点の曲です。(坂田梁山氏)
- 2. 葦のうた** 松本雅夫 作曲 〈編成〉箏2
洋楽にも造詣の深い松本雅夫先生の作品。雑草の葦と「考える葦」をかけたもので、叙情性に満ちた箏の音色の独自感を表しているようだ。とっても美しい一曲。
- 3. 二つの田園詩** 長沢勝俊 作曲 〈編成〉箏、十七絃、尺八
日本の美しい自然と、これに深いかかわりを持ちながら生きてきた人々の気持ちを三つの楽器に託して作曲された。一章は箏、17絃、尺八の音色が優しく重なり合い豊かな自然の癒しを…、対照的に二章は自然の力強さや生命力を感じられる躍動感に満ち溢れたメロディーとなっている。
- 4. 花笠スケルツォ** 江戸信吾 作曲 〈編成〉箏2、十七絃、尺八
この曲は山形の民謡「花笠踊り」をスケルツォにしたもので、スケルツォとは軽快で技巧的な器楽曲のこと。原曲の華やかさとノリを活かしつつ情緒感を大切に作られています。作曲者のスケルツォ6曲目の作品でシリーズ完結作。
- 5. 六段・さくら** 吉崎克彦 作曲 〈編成〉箏2、十七絃
八橋検校の「六段」が、新たに作られた箏と17絃のパートを加えて生まれ変わった。厳かなプロローグから徐々に、華やかに春の桜の蕾がふくらみ、大空いっぱい咲き誇り、やがて花吹雪舞う様に似て…。
さま
- 6. 流音** 吉崎克彦 作曲 〈編成〉箏2、十七絃2、三絃、尺八
弾力のあるリズムをテーマに、爆発的な音と、緩やかな絃の振動が「流れ」を創り、シンプルでありながら序破急のあるスケールの大きな楽曲となっている。NHK邦楽技能者育成会委嘱
- 7. クリスタル** 吉崎克彦 作曲 〈編成〉箏、十七絃
『クリスタル』だけで興奮！透明～無垢～清涼感～山の清流 なんてロマンス。なんて憧憬。なんて気持ちいい。憧れます。すごく憧れます。水晶ではなく『クリスタル』
- 8. 越後獅子** 峯崎勾当 作曲／箏手付 市浦検校 〈編成〉三絃、箏、尺八
地歌。三下り手事物。越後の風流芸能の角兵衛獅子を中心に、当国の産物、名所、地名を歌い込んでいます。「越後獅子」の曲は長唄でよく知られていますが、原曲は地歌の方で、獅子物の代表曲です。
- 9. 硝子の星座** 吉崎克彦 作曲 〈編成〉箏2、十七絃、三絃、尺八
ある年みた流星群は強い印象として目に焼きついている。流れる星々は語らいのひとコマのような自由な空間をつくっていた。残像は無条件に感動的だった。(作者)
33年に1度見られるという「しし座流星群」。宇宙の彼方から現れ、消えてゆく…。5つのパートが織りなす音はどんな響きとなり聴こえてくるのか…。お楽しみに。

